

成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	高度な技術を要する技工を外部に発注することにより、口腔内の状態を最良の状態に改善し、持続するための治療を実施することにより、今後の治療方針等の検討を行うが、その診療内容等が適切であるか関係機関の審査を得るため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	35464	35450	0	0
実績	39164	39490	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今後とも、簡易な技工については、職員が処置することで経費の節減に努める必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	近年の材料費の高騰に伴い、発注の際一層精査を行い、経費削減を図る。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題